



お江戸舟遊び瓦版 117号

水彩都市江東 ころろ美しい日本の再生 安全・安心まちづくり
お江戸観光エコシティ・お江戸舟遊びの会 江東区千田 13-10

2025年市民文化フォーラム第58回 8.15集会「戦後80年 運動の成果と市民の力」

日時： 25年8月15日（金）13:30～16:30

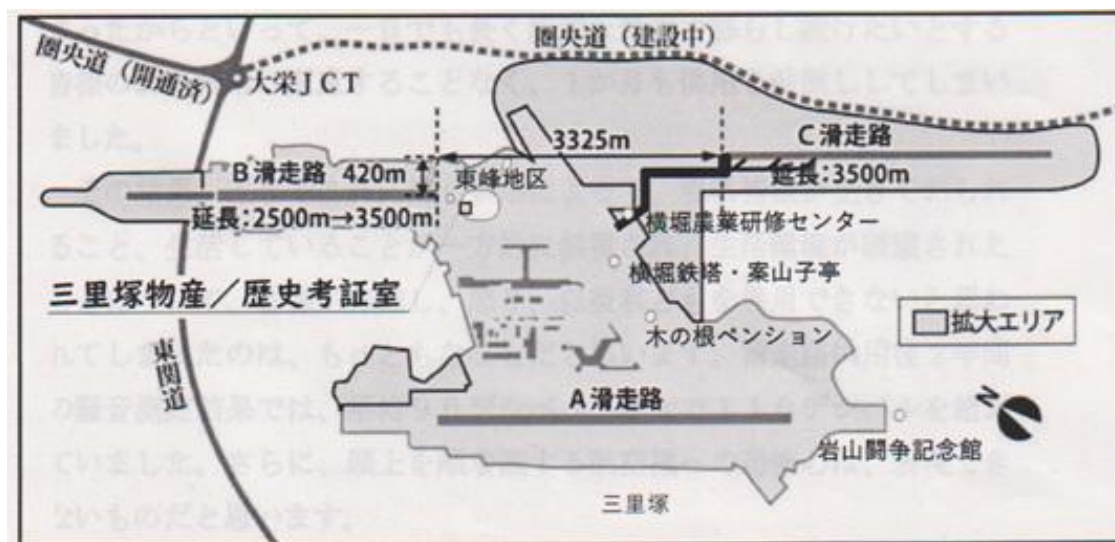
所： 日本教育会館 中会議室

1. 報告「成田空港問題の市民の力の歴史」 平野靖識（三里塚歴史考証室）



- 1966年 成田空港設置閣議決定 成田空港反対闘争始まる
- 1969年 成田空港 土地収用法の事業認定
- 1971年2月 第1次代執行：一坪運動用地強制収用される
9月 第2次代執行：東峰十字路事件（大木よね、家・宅地・田を強制収容される）
(近代化農業への疑念：茨城の有機農業との交流・微生物農法の取り組みへ)
- 1978年 成田空港 4000m 滑走路一本で開港
- 1986年 空港公団空港 2期工事に着工
(微生物農法：循環型と持続性の有機農業。大量生産・大量消費の批判)
- 1991年 成田空港シンポジウム：村岡運輸相が強制的手段を取らないことを確約
(反対同盟は2期用地に地球的課題の実験村：循環・持続性の農的価値の暮らし方地域づくりを提案)
- 1993年 円卓会議始まる：隅谷調査団「あくまでも話し合いにより解決する」
- 1999年 2200m 暫定滑走路着工
- 2005年 空港社長が暫定滑走路運用による被害と経過についてお詫び・反省文書提出
- 2009年 北伸平行滑走路（2500m）供用開始
- 2014年 成田空港圏自治体連絡協議会：成田空港の将来像を議論する勉強会開催
- 2015年 4者協議会（国県9市町NAA）：NAAは1000m延長、第3滑走路を提案
- 2023年 成田空港騒音被害差し止め提訴：夜9時から朝7時までの騒音差し止め
- 2023年 C滑走路準備工事始まる（高屋川拡幅・沈砂池設置工事）

成田空港問題は、1966年の反対闘争に始まったが、1991年の空港問題シンポジウムで対決から対話の時代が始まり、1994年の円卓会議で対決終結が結ばれた。その後の紆余曲折を経て、現在は共存の時代に入っているが、夜間飛行を差し止める訴訟等なお成田問題の課題は続いている。



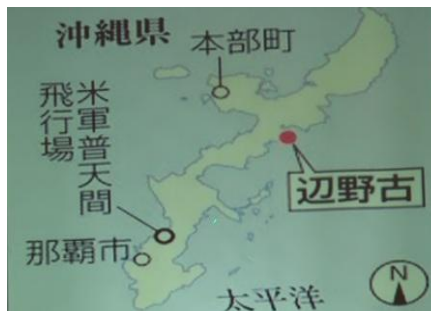
2. 辺野古米軍新空港建設問題 水沢澄江（辺野古カヌーチーム）

- ・ 世界は、ウクライナ、ガザ、イランへの攻撃など、**人倫の奈落**の感がある。
- ・ 沖縄は、目取真俊が言うように「**沖縄には戦後がない**」



① 辺野古の今

- ・ 大浦湾はサンドコンパクション船、海砂採取船、打設クレーン台船等など代執行で始まった大浦湾の工事が始まっている。
- ・ **誰が何のために使うのか、いくらかかるのか、いつできるのか不明の公共工事。**
運搬船はどんどん大きくなり、警備会社は 24 時間警備、1 日の警備費は 2600 万円
ピカピカのトラック等、基地ができようができまいがゼネコンは笑いが止まらない。
- ・ 反対運動は、「**強き力に対し、弱きカヌーでたたかう**」：抗議船、カヌー、座り込み



打設クレーン



強き力に対し、弱きカヌーでたたかう

② 日本は戦争へと向かうのか

- ・ 南西諸島の**軍事要塞化**—日本列島も
2014 年秘密保護法、2015 年安保法制：集団自衛権、2022 年敵基地攻撃
- ・ 戦後米占領下で、普通の人々の生活・命を守る、非暴力、直接行動は今につながっている。
- ・ 復帰を巡り、ベトナム戦争、核抜き本土並み？ 復帰後反 CTS 闘争・・・

「**みんなが反対すれば、戦争は止められる**」

《パネルディスカッション》

久道瑛未（元シールズ TOHOKU、弁護士）

- ・ 戦後 80 年、嘘をつく、対話のない安倍政権以降に、戦後 80 年 日本の民主主義の危機を感じる。
- ・ ショート動画時代に生まれてきた参政党の草の根運動に注意を払わねばならない。
- ・ この時代、**市民側の政治家を創り出さねばならない。**
- ・ そのための若者の運動が芽生えている。

Fifty project, No Youth No JAPAN, We want our future・・・

菅井益郎（國學院大學名誉教授、反公害・反原発運動）

- ・ 仲間が足尾銅山・渡良瀬のフィールドワークを進めている。子供が関心を持ってきている。
- ・ **若い世代が活動を広げていることに期待している。**
- ・ 田中正造の秘書が起ち上げた雪印等の公害企業の社内機教育の継続などが課題と思う。
- ・ 石破首相は、80 周年談話を出すべきと思う。

平野： 昔、新憲法に納得したが、今は逆転し、捻じ曲げられている感がある。

水沢： なぜカヌーを漕いでいるか、力のないカヌーで闘いたい。今何をすべきかを考え、沖縄に通いだした。カヌーチームは**平均年齢 70 代**が中心となっている。

久道： **現場で活動していることの重さ。ネットですべてを知る若者たち・高齢者のネット世論**報告に心を打たれた。50 代の方が、少し勉強したら、自民党より参政党に期待しという時代。

所感： 戦後 80 年、**成田空港闘争は 59 年**になる。1993 年円卓会議が始まり、話し合いが優先され、反対同盟は地球的課題の実験村と位置付け、循環型・持続可能な農的ライフスタイル実現を夢見てきたという。一方、**辺野古米軍新空港建設問題**はいつできるのか誰の為なのか等、将来不明の公共工事とのこと。建設反対の闘いは**かよわいカヌー**で高齢者が挑んでいる。そんな中、最近の若者たちが、SNS 等を活用した**新しい市民運動**が始まっていることに期待したい。（文責 中瀬）